

「令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）」の協議申し入れに係る
これまでの経過と「幌延深地層研究の確認会議」について

1 申し入れ以降の経過

- 8月 2日 日本原子力研究開発機構が道及び幌延町に対し「令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）」について申し入れ
- 8月 5日 道と幌延町が「幌延町における深地層の研究に関する協定書」第14条に基づく「幌延深地層研究の確認会議」の開催を合意
- 9月 5日 研究計画（案）に対する道民の質問等を募集（～10月4日）
- 9月10日 第1回 幌延深地層研究の確認会議を開催
※11月6日までに5回開催
- 11月 6日 研究計画（案）に係る確認結果を公表
道民の皆様からの意見の受付を開始（～12月5日）
- 11月19日 確認結果についての説明会の開催（札幌市）
- 11月20日 幌延町周辺市町村への説明会の開催 ※予定
確認結果についての説明会の開催（幌延町） ※予定

2 「確認会議」の概要

- 道と幌延町は「三者協定」第14条に基づく「確認会議」を開催し、研究計画（案）に関して、必要性や妥当性、三者協定との整合性を論点として内容を精査することとした。
- 確認会議では、道、幌延町、専門有識者からの質問に加え、道民の皆様から寄せられた、研究期間の延長や最終処分場になるのではないかと、といった200件の質問も含め、原子力機構に質問を行った。

（1）構成員など

- ・北海道：環境・エネルギー室長（座長）、宗谷総合振興局産業振興部長
- ・幌延町：副町長、企画政策課長
- ・専門有識者：地質学、地盤工学、原子力工学、環境工学、行政法の大学教授等

（2）開催状況

第1回（9月10日）

- ・確認会議の進め方の説明
- ・原子力機構からの研究計画（案）の説明聴取
- ・確認すべき事項の抽出

第2回（10月10日）

- ・研究計画（案）に関する質問事項の提示
- ・原子力機構から研究の必要性を中心に回答

第3回（10月23日）

- ・原子力機構から、前回提示した質問事項への回答が書面で提示され、妥当性

や三者協定との整合に関する質疑

第4回（10月31日）

- ・ 前回会議における再質問等への回答と質疑

第5回（11月6日）

- ・ 確認内容のとりまとめ

（3）主な確認事項

（必要性）

- ・ 地層処分研究の位置付
- ・ 当初計画の成果と検証
- ・ 計画延長の必要性
- ・ 20年程度の研究としながら延長する必要性

（妥当性）

- ・ 研究延長期間
- ・ 更なる延長の可能性
- ・ 計画終了までの工程と埋め戻しの提示

（三者協定との整合性）

- ・ 三者協定遵守への認識
- ・ 協定第2条（放射性廃棄物の持ち込み、使用）について
- ・ 協定第3条（最終処分を行う実施主体への譲渡・貸与）について
- ・ 協定第4条（地下施設の埋め戻し）について
- ・ 協定第5条（将来とも処分場としない）について